

平成30年度第三者評価 改善状況報告書

平成31年4月26日

| | | | |
|-----|--------------------|-------|---------------|
| 施設名 | 麻布地区港区立いきいきプラザ（5館） | 施設所管課 | 麻布地区総合支所管理課 |
| 所在地 | 港区西麻布2-13-3 他4か所 | 指定管理者 | 株式会社セントラルスポーツ |

| 改善すべき指摘内容等 | 平成31年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄) | 平成31年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄) | 所管課確認欄 (施設所管課記入欄) |
|--|---|--|---|
| 人材の確保・育成 | | | |
| 文化系教室の継続実施や拡充には、講師の人材確保は安定的であることが必要だが、そのための体制は整備段階にあるといえる。ボランティアの募集や人づてによる紹介のみでなく、安定的に確保できるような関係機関との連携等を視野に入れた取組も必要と推察される。 | 文科系教室については、区民の要望に応えるべく英語及びスペイン語の語学教室を増設した。また、港区シルバー人材センターと連携し、絵手紙教室や折り紙教室を増設した。 | 引き続き港区シルバー人材センターとの連携を強化し、継続的に安定した教室運営を図っていく。また、区民がボランティア講師としていきいきプラザで教室開催が継続的に実施できるようシステムを構築するとともに、港区社会福祉協議会との連携を検討しており、より良い教室運営体制を整えたい。 | 現状のシルバー人材センターとの連携を強化し、区民ボランティア講師が継続的に実施できるシステム構築は今後も期待される。また、港区社会福祉協議会との連携は、新たな取組みとして捉えている。これらの取組みは、財政的負担が少なく今後の安定的な人材確保を期待できると考えている。 |
| 安全管理・危機管理 | | | |
| 通い慣れている利用者でも高齢化による転倒などのリスクが常に存在していることを念頭に置いて、今後もソフト（危険予知のための「気づき」の共有など）・ハード面での安全に資する取組の継続的な充実に期待したい。 | 『施設改善報告書』を麻布地区5館のネットワークシステムで共有し、迅速に水平展開することで利用者への安心・安全な施設管理を行っている。 | 統括館長及び施設長の定期的な巡回のほか、各館長やプラザ職員も定期的に他館を視察することで常に新しい目で館の状況が確認できる体制を整えていく。 | 統括館長、施設長、各館長が定期的に他館を視察する事は効果があると考えられる。リスク低減のため各館共通の取組を継続的に実施することに期待したい。 |